

「生き抜く力」を育む園小中一貫教育

新学年を迎えるにあたって

3月になりました。4月、新しい学年がスタートする前に子どもたちと1年間の振り返りをしてみませんか。この1年で成長したこと、できるようになったこと、できなかったことなどを確認しやすい内容（身体的な成長など）から話すといいかもしれません。成長したこと、できるようになったことは共に喜び、できなかったことは対策を一緒に考えるといいと思います。そして、その際には、気を付けていただきたいことが2つあります。

- ・できていることを当たり前と思わず、小さなできていることをたくさん集める
- ・できなかったことを叱らない、がっかりしない

できていることを認められたり、褒められたりすることは自己肯定感につながります。小さなことでも認められるとうれしいものだと思います。また、できなかったことには原因があります。原因の中には本人だけでは解決できないものもありますので、叱られたり、がっかりされたりすると、無力感や無気力、絶望感などにつながってしまうことがあります。

保護者の皆様には、子どもたちの成長を子どもたちと共に喜び合い、できていることを認めたり、褒めたりしていただきたいです。また、できなかったことはできるようにする方法を一緒に考えて、できることが増える1年間になるように準備をし、来年の3月には、ぜひ子どもたちと一緒に喜び合ってくださいね。



社会教育あれこれ



鉄穴井手
(下阿毘縁 砥波地区)



鉄穴残丘
(福塚 白谷地区)

現在も残る「たたら製鉄」の痕跡

日南町は鳥取県内でも特にたたら製鉄が盛んに行われた地域です。約100年前にたたら製鉄は終焉を迎えましたが、その産業文化の痕跡を様々な形で目にすることが出来ます。

■鉄穴残丘(かなざんきゅう)
たたら製鉄では、真砂土の山を崩し、流れた土砂から砂鉄を採取します。その際に残された小高い丘のことを鉄穴残丘と呼びます。

残丘は、平地の中に不自然に残る小高く尖ったように見える山です。町内では、茶屋・笠木・宝谷・神戸上・福塚などでこのような地形を見ることができ、大規模な鉄穴流しが行われたことを示しています。

■鉄穴井手(かんないで)
前述した鉄穴に水を流すために利用した水路です。たたら製鉄としての水路利用が終わると、その後に新しくできた水田に水を引くための水路として利用されました。

冬に雪が降ると、鉄穴井手の跡に雪が積もり遠くから見ると白い筋のように見えます。

町内に住んでいると、これらの地形の特異性に気づきにくいものです。一方で、観光客の方々はこのような地形に驚きを感じる方が多くいらっしゃると思います。長い時間が作り上げた地域の産業史の痕跡を独自の文化として後世へ伝えていきたいと思っています。

■問合せ

日南町教育委員会

電話(82)1118

